

01MB544 ライブラリー・ガバナンス論

2.0 単位, 1・2 年次, 春AB 月7,8

池内 淳

授業概要

ライブラリー・ガバナンスに関わる諸問題を扱う。ガバナンスは「統治」と訳されることが多い。その内容は、関連する諸法規・基準の理解と健全な経営管理を意味する。この科目では図書館および情報センターの経営管理に関わるトピックを中心に講義とケースメソッドを中心に進める。公共図書館と大学図書館それぞれに関わる問題と共通する問題に対して理解を深める。文献・資料・ウェブサイトなどの情報を収集分析し、ライブラリー・ガバナンスを利用者,組織,図書館員等さまざまな視点から「良い図書館とは何か」を議論し、説明を行えるようにする。

備考

図書館経営管理コース
講義科目

授業形態

講義

達成目標

ライブラリー・ガバナンスの概念について理解する。
図書館の使命、目標、目的、機能とコミュニティの関係性を理解する。
図書館活動に関係する問題点、その展開を明確にする。
図書館活動の企画運営に関する知識を深める。
最終的に図書館経営の観点から図書館とコミュニティを統治できる基礎を習得する

授業計画

ライブラリー・ガバナンスは図書館における統治であり,図書館経営と親和性の高い領域である。この科目では,講義と事例を中心に進め,主に公共図書館のガバナンスに関する概念と諸問題に関する理解を深める。授業を通して,経営,組織,利用者,コミュニティ,図書館員等のさまざまな視点から「よい図書館のガバナンスとは何か」を議論することで,図書館の経営者として知識や情報を基礎に図書館と地域コミュニティを統治するための基礎を習得する。

- 1) パブリックガバナンスと図書館
- 2) 図書館の経営戦略
- 3) 図書館の経営組織
- 4) 図書館の専門性
- 5) 図書館と他機関との連携
- 6) 現代の図書館における諸問題(1)
- 7) 現代の図書館における諸問題(2)
- 8) 現代の図書館における諸問題(3)
- 9) 現代の図書館における諸問題(4)
- 10) 現代の図書館における諸問題(5)

評価の方法

演習課題と期末試験によって総合的に評価します。

教科書

なし

参考書

1. 片山善博;糸賀雅児,地方自治と図書館:「知の地域づくり」を地域再生の切り札に. 東京;勁草書房, 2017, 242p.
2. Koizumi, Masanori, Inherent Strategies in Library Management. 1st Edition, Oxford, UK, Chandos Publishing, 2017, 240p., ISBN978008101277

オフィスアワー

水3限

7D413 atsushi@slis.tsukuba.ac.jp

その他